

松江市立病院 だより

Vol.80

2017年
夏号

CONTENTS

予防は治療に勝る	1
松江市立病院は チーム医療を推進しています	2-3
いやしの森コンサート 地域連携だより	4
ボランティアグループ すずらん通信	5
〈最近の医療から〉 経皮的脳血栓回収術	6
〈最近の医療から〉 円形脱毛症の治療法「局所免疫療法」	7
〈看護局より〉 手術看護認定看護師について	8
〈ヘルスケア・キッチン〉 梅風味おろしやっこ丼	9
新任医師紹介 〈お知らせ〉	
患者さんからのご意見・ご質問	10
松江市立病院の理念・基本方針	11
診療日程表	12



予防は治療に勝る

副院長 吉岡 宏



外来治療やケアを主体に整備したがんセンターに、サイバーナイフやトゥルービームといった最先端の放射線治療装置を山陰で初めて導入しました。これは、正常な臓器や組織への影響を最小限にとどめながら腫瘍に放射線を集中的に照射するという先進的ながんの治療方法で、しかも健康保険適用で治療が受けられます。あわせて緩和ケアセンターや外来化学療法

室も充実しましたので、松江地区での他の医療機関等との連携による地域完結型のがん治療の仕組みは大きく前進しました。

このようにがん治療体制を充実させてきましたが、「予防は治療に勝る」という言葉があるように、当院では健診センターを設けて予防医療の充実も図り、がん検診や各種健診、ドックに力を注いでいます。病気の予防には自分の健康状態を正しく知り、適切な生活習慣を送ることが重要ですので、健診を受けることはとても大切です。

健診センターでは一般健診、生活習慣病予防健診、人間ドック、脳ドック、がん検診を行っていますが、平成27年度にPET/CT装置を導入したことから、これを利用したがん検診もおこなっています。PET/CT装置による検査は、一度にほぼ全身を調べることが可能で、痛みや不快を感じることがありません。検出しにくい「がん」もありますが、腫瘍の大きさ、位置などの診断精度が高く、早期がんの発見にたいへん有効です。

また、松江市のがん検診（胃がん、乳がん、子宮がん）やドック、健診のオプション検査として腫瘍マーカーによるがんの検査もおこなっています。是非とも多くの市民の皆さんに受診していただき、がんや生活習慣病の早期発見、早期治療に繋げていただきたいと思います。

ところで、当院では数年前からカルガモが2階の屋上庭園で営巣しています。今年もカルガモの親子が屋上庭園「癒しの庭：和み（なごみ）」でかわいい姿を見せてくれました。「癒しの庭：和み」は、屋上庭園をボランティアの皆さんのご協力によりきれいに整備していただいたものです。カルガモ親子と共に患者さんや職員の心を癒してくれるでしょう。



病院モットー

愛情 信頼 奉仕

松江市立病院は チーム医療を推進しています

チーム医療とは、さまざまな専門能力を持ったメディカルスタッフ（医療専門職）が連携して、治療やケアにあたることです。当院では様々な職種のメディカルスタッフが働いています。それぞれが連携・協働してより良い医療の提供をめざしています。チーム医療では、患者さん・ご家族もチームの一員です。



緩和ケアチーム

がん患者さんのさまざまな「苦痛」を軽減するチームです

〈主なメンバー〉

緩和ケア・ペインクリニック科医師、
精神神経科医師、がん看護専門看護師、
緩和ケア認定看護師、緩和ケア薬物療法認定薬剤師、
管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、
医療ソーシャルワーカー

認知症ケアチーム

高齢者や認知症患者さんが安心して療養生活が過ごせるようにサポートするチームです

〈主なメンバー〉

神経内科医師、老人看護専門看護師、
社会福祉士、看護師

褥瘡(じょくそう)対策チーム

褥瘡(床ずれ)の処置や予防方法・環境調整についてスタッフに助言を行い、褥瘡ケアの向上を図るチームです

〈主なメンバー〉

皮膚科医師、形成外科医師、
皮膚・排泄ケア認定看護師、看護師、
管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士

栄養サポートチーム(NST)

患者さんを栄養面でサポートするチームです

〈主なメンバー〉

医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士

嚥下(えんげ)チーム

食事を安全に美味しく食べることができるよう、嚥下障害の早期発見や口腔ケアの指導に取り組むチームです

〈主なメンバー〉

リハビリテーション科医師、歯科医師、
摂食・嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士、
管理栄養士、看護師、歯科衛生士

患者サポートチーム

患者さんのさまざまな相談に対応するチームです

〈主なメンバー〉

医師、看護師、医療安全管理者、専門相談員

口腔ケアチーム

患者さんの口腔内のケア・管理をサポートするチームです

〈主なメンバー〉

歯科医師、歯科衛生士、看護師

精神科リエゾンチーム

「リエゾン」とは、フランス語で「連携」や「連絡」を意味する言葉です。患者さんのさまざまな心理的問題に対応するためのチームです

〈主なメンバー〉

精神神経科医師、精神科看護認定看護師、
精神保健福祉士、薬剤師、看護師

感染対策チーム(ICT)

感染症から患者さんを守るためのチームです

〈主なメンバー〉

医師、感染管理認定看護師、薬剤師、
臨床検査技師

TOPICS

いやしの森コンサート

本館講堂にて「いやしの森コンサート」を開催しました。今回は「オカリナ だんだん」の皆さんのオカリナ演奏と、看護の日記念行事として、当院看護局有志による合唱を披露しました。

オカリナの調べと合唱団の美しい(?) 歌声で、入院患者さんにも心穏やかひとときを過ごしていただきました。



地域連携 だより

松江市立病院では、周辺医療機関と連携を図りながら、医療の充実に努めています。

地域医療連携推進委員会を開催

5月30日(火)に本年度初回の地域医療連携推進委員会を開催しました。この委員会は、当院が地域医療支援病院として担っている地域の医療の確保に必要な支援を適切に行っているのか、地域の皆さんのご意見をお聞きするものです。委員には、地域の医療を担ってられる松江市医師会などの代表の方や市民の皆さんの声を聴くために町内

会・自治会の代表の方、行政機関の方などに就任してもらっています。

今回の委員会では、地域医療連携の状況を説明しました。委員の皆さんからは、当院の地域医療へのさまざまな取り組みに対して期待するご意見が寄せられました。

今後も皆さんから寄せられたご意見を参考に、地域医療の支援・充実に向けて尽力してまいります。



ボランティアグループ すずらん通信

ボランティア総会

恒例の病院ボランティアグループ「すずらん」の総会を開催しました。総会では、病院ボランティア活動に積極的に取り組んでいただいた皆さんに、活動時間の節目ごとに病院から感謝状を贈呈しています。今年は、活動時間700時間を迎えた方2人と活動時間300時間を迎えた方1人に、紀川病院長から感謝状を贈呈しました。

ボランティアの皆さん、これからも病院ボランティア活動へのご協力をお願いします。



ボランティア説明・研修会

病院ボランティアの説明・研修会を行いました。当院のホームページや市報松江の案内を見て4名の方が参加されました。研修内容は、病院ボランティア活動の心得や感染予防のこと、車椅子等の操作と移動介助の基本など多岐にわたりました。参加者の皆さんも、真剣な表情ながら和気あいあいの雰囲気の中で研修に取り組みました。終了後、3名の方が病院ボランティアに加わられることになりました。これからの活動に期待しています。



今後も引き続き、病院とボランティアスタッフが連携して患者さんにとってより良い療養環境を整えるために、ボランティア活動に参加いただく方を募集しています。

屋上庭園「癒しの庭：和み」

表紙の写真のように、病院ボランティアの皆さんの活動で、本館2階の屋上庭園が整備され、新たに「癒しの庭：和み」と名付けました。皆さんが丁寧に整備してくださり、見違えるようになりました。田和山史跡公園の緑と合わせた癒しの空間が広がっています。病院ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



経皮的脳血栓回収術

脳神経外科部長
瀧川 晴夫

(日本脳神経血管内治療学会専門医)



～血管造影～



図1 血栓で詰まった血流



図2 血栓除去で血流が再開したが、さらに血栓があり、全面再開していない

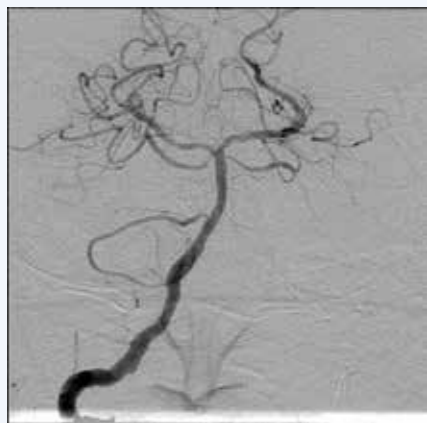


図3 再度の血栓除去で全面再開

脳梗塞は、脳の血管が詰まって血流がなくなり、そのため脳細胞に十分な酸素や栄養が届かなくなって脳細胞が壊死してしまう病気です。脳梗塞になった部位により、麻痺や言葉の障害、意識障害などの神経症状が出現し重大な後遺症を残したり、時には生命の危険に及んだりする場合があります。

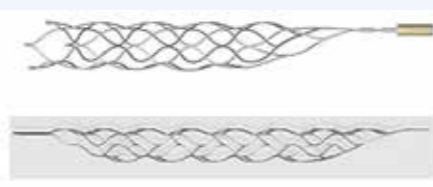
脳梗塞になった場合、一般的には6時間以内に脳の血流が再開できれば、予後が大きく改善すると言われています。そのため、脳梗塞の超急性期の治療方法として、発症から4時間30分以内であれば、tPA（組織プラスミノゲン活性化因子）静注療法があります。これは、tPA製剤を静脈注射して、脳の血管に詰まった血栓を溶解し、脳の血流を再開させる治療法です。

しかし、主要な脳動脈に血栓が生じた場合などは、tPA製剤では十分に溶解できない場合も多くあります。そうすると予後の経過も悪く、重大な後遺症を残すこととなります。そのため、追加の治療法として脳血管内手術である経皮的脳血栓回収術があります。

これは、脳血管の中にカテーテル（細長い柔らかい管）を入れ、そこからステントリトリーバー（筒状の回収装置）により血栓を絡めて回収したり、太いステント（筒状の管）を使って血栓を吸引除去したりする方法です。また、脳動脈硬化症による狭窄から脳梗塞を生じている場合は、バルーン（風船）により脳血管の拡張をおこないます。

平成27年には、tPA静注療法を単独におこなった場合に比べ、tPA静注療法に追加して経皮的脳血栓回収術をおこなった場合の方が有効であることが報告され、注目されています。

当院では5年前から、主要な脳動脈が詰まるような脳梗塞でtPA静注療法が効かなかった場合や、tPA静注療法ができなかった場合に経皮的脳血栓回収術をおこなっています。おかげさまで良好な治療結果を得ています。脳梗塞かなと思われたら、一刻も早く受診してください。



ステントリトリーバー



血栓吸引除去装置

円形脱毛症の治療法 「局所免疫療法」

皮膚科部長
吉田 暁子

(日本皮膚科学会専門医)



毛が抜ける病気には、円形脱毛症、ももとの病気や薬による脱毛症、生まれつきの脱毛症（先天性）、男性型脱毛症、女性型脱毛症などがあります。その中で円形脱毛症は、毛の生える元となる毛包に対する原因不明の自己免疫疾患と考えられており、小児から高齢者まで年齢を問わず発症する病気です。

治療法としては塗り薬や飲み薬、局所注射、点滴、紫外線治療などがありますが、これらの治療法は日本皮膚科学会円形脱毛症診療ガイドライン2010に基づき、患者さんの年齢、脱毛の面積、発症期間により選択されます。今回はその治療法の中で、年齢を問わず適用でき、症状の固定した長期経過例に対しても第1選択肢として行うべきであると推奨されている「局所免疫療法」について取り上げます。

局所免疫療法とは、自然界にない化学物質を使って人為的にかぶれを生じさせることを治療に応用したもので、即効性はないものの重篤な副作用がないことから注目されるようになりました。

当科の局所免疫療法では、ジフェニルシクロプロペノンという化学試薬を使用しています。効果に関しては個人差があるので一概には言えませんが、有効率50～60%と推定されています。副作用としては、過剰なかぶれや水ぶくれ、じんましん、しみ、白斑、リンパ節の腫れなどがあげられます。小児でも治療は可能ですが、妊婦に対しての安全性は確立されておりませんので、妊娠されている方には使用できません。

治療方法ですが、最初に高濃度の1%ジフェニルシクロプロペノン液を塗布した絆創膏のようなものを腕または頭に2日間貼ります。約2週間後に低濃度の0.00001%ジフェニルシクロプロペノン液を、脱毛部位に筆を使用して塗っていきます。そして、わずかな紅斑、掻痒感が出現するまで、徐々に濃度を上げたジフェニルシクロプロペノン液を塗っていきます。治療に適した濃度が決まったら、効果を判定しながら基本的には2週間ごとに通院していただき、継続して塗っていきながら治療経過を見ていきます。

費用に関しては、健康保険の適用が認められておりませんので自費診療となります。

なお、既に円形脱毛症の治療を受けておられる方は、かかりつけの先生とご相談の上、かかりつけの先生から紹介していただくようお願いいたします。



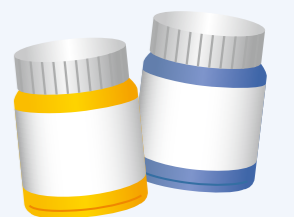
治療前



治療後

局所免疫療法の費用

- ◆初診時（紹介状のある方） 4,860円
（紹介状のない方） 10,260円
- ◆再診時 1,474円



手術看護認定看護師について



手術看護認定看護師
武田 智文

手術看護認定看護師をご存知でしょうか。手術を受けられる患者さんのために、手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理（体温・体位管理、手術器材・機器の適切な管理等）をおこなったり、周手術期（手術前・手術中・手術後）における継続看護の実践をおこなったりすることを専門的に学び、認定を受けた看護師です。私は手術看護認定看護師として、中央手術室配置の看護師の一員としての業務を行うとともに、認定看護師として専門的に学んだことを、一緒に働く仲間の看護師に伝えることで、患者さんのために手術看護の質を向上させることに努めています。

手術は、疾病の治療方法の選択肢の一つです。そして、手術を行うには、麻酔を使うことが必要となります。手術看護では、患者さんから麻酔のことで聞かれることも多いです。

麻酔には大きく分けて2種類あります。それは「全身麻酔」と「局所麻酔」の2種類です。これらの麻酔の大きな違いは、患者さんが意識消失を伴うか伴わないかの違いにあります。簡単に言いますと、「全身麻酔」では患者さんが手術中に就眠していますが、「局所麻酔」では患者さんは起きています。局所麻酔で手術を受けることになっている患者さんで、手術中は寝ていたいと思われる方は、術前の麻酔科診察の時に就眠希望であることをお伝えください。

その他、私が手術前の訪問で患者さんからよくお聞きする質問をお伝えします。

まずは「全身麻酔で手術中に目が覚めることはないですか?」という質問です。答えは、麻酔で使用する眠らせるための薬剤は、手術を始める時に使用して終わりではなく、手術中も眠っている状態を継続させるために、一定量の薬剤を使用し続けています。ですから、手術中に目が覚めることはありません。また、手術中に麻酔がどのくらい効いているか、全身状態はどうかなどモニターを使用して常時観察・計測していますので、患者さんも安心して全身麻酔を受けてください。



次いで「アルコールを沢山飲んでいると、麻酔が効かないですか?」という質問です。答えは、麻酔で使用する一部の薬剤の使用量が増える可能性はありますが、麻酔が効かないということはないです。安心して全身麻酔を受けてください。

今年4月から、毎週木曜日にある麻酔科の術前診察に同席しています。手術や麻酔のことで疑問に思われることや不安を感じるなどありましたら何でもお話しください。少しでも手術を受けられる患者さんの、疑問に思われることを解消したり不安を感じることを軽減したりできるようになればと考えていますので、よろしくお願いします。

ヘルスケア・キッチン

猛暑を乗り切る夏バテ予防ご飯

梅風味おろしやっこ丼

今回は私が紹介します♪

栄養管理部
管理栄養士 田口 遥香



猛暑の季節になると、暑さに疲れてしまい元気がなくなり、胃腸の動きも弱りがちになります。「今日はあまり食欲がない」というときは、少量でも栄養価の高い食材を選ぶと効率よく栄養を摂ることができます。また、香味野菜や酸味・辛みなどの適度なアクセントをつけることで食欲が刺激されます。しっかり食べることが夏バテ予防の基本です。

材料(4人分)

絹ごし豆腐…300g、シラス干し…大さじ4杯、青じそ（あらみじん切り）…4枚、大根…200g、梅干し…1個、しょうゆ…大さじ1杯、温かいごはん…4人分（150g×4）

作り方

- ①絹ごし豆腐はキッチンペーパーで包んで水気を切る。
- ②シラス干しはざるに入れて熱湯をまわしかけしたら、水気を切って、青じそと混ぜ合わせる。
- ③大根はすりおろして水気を絞る。
- ④梅干しは中の種を除いてたたき刻みして、しょうゆと混ぜ合わせる。
- ⑤どんぶりに温かいごはんを盛り、水気を切った絹ごし豆腐を手で荒くくずしながらのせる。
- ⑥その上に青じそと混ぜたシラス干し、すりおろして水気を絞った大根のをのせる。
- ⑦その上から梅干しのたたき刻みと混ぜ合わせたしょうゆを回しかける。



エネルギー(1人分)
300kcal

塩分(1人分)
1.3g

一口メモ 大根の栄養・効果

- ◎根…でんぷん分解酵素のアミラーゼを多く含み、でんぷんの消化を促進します。胸焼け、二日酔、胃酸過多、胃もたれに効果があると言われています。
- ◎皮…毛細血管を強くするビタミンPが含まれており、丈夫で健康な毛細血管を維持する働きがあります。高血圧の改善や脳卒中の予防にも効果的と言われています。
- ◎葉…緑黄色野菜の仲間、カロチンやビタミンC、カルシウムなどが豊富に含まれています。



新任医師紹介



小児科

米田 尚弘
よねだ なおひろ
— 専門分野 —
小児血液・腫瘍



患者さんからの ご意見・ご質問

Q1 松江市立病院で出産を希望しますが、紹介状がないと初診時選定療養費（5,400円）が必要ですか。（30代女性）

A1 当院で出産される場合は、産婦人科での初診時選定療養費はいただきません。

Q2 出産の時の入院は、個室が利用できますか。（20代女性）

A2 出産に際しては、個室を優先とした対応をしており、個室代は別途いただきません。

患者相談窓口 ☎0852-60-8000(代)

お知らせ

病室のテレビ・冷蔵庫が新しくなりました

病室のテレビ・冷蔵庫が新しくなりました。それにともない使用料金が従来より安くなりました。

テレビ視聴はテレビカード1枚（1,000円）で19.5時間から25時間へ、冷蔵庫の利用は1日200円から100円と安くなりました。



Q3 会計の呼び出しが、名前の呼び出しから番号での案内に変わって喜んでいました。

以前は、名前を聞き間違えたりすることもありました。（通院患者さん）

A3 ありがとうございます。会計番号の表示板は、がんセンター1階の「カフェ・ド・クリエ」の店内にもございます。会計の待ち時間にカフェで寛いでいただくこともできます。がんセンター1階には診療費支払機も設置していますので、あわせてご利用ください。

●毎回、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後も、各種悩みごと・当院に対するご意見がありましたら、遠慮なくご相談ください。

表紙写真 屋上庭園とカルガモ きれいに整備された屋上庭園「癒しの庭：和み」と、カルガモの姿です。

松江市立病院 理念

松江市立病院は、市民への奉仕を第一とし、市民から愛され、信頼される病院を目指します。地域中核病院として、また自治体病院として市民ニーズに的確に応える医療を行うとともに、保健医療福祉の連携に努めます。

松江市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんへの思いやりを第一とし、市民から愛され、信頼される病院にします。
- 2 私たちは、医療水準を高め、全力を尽くして患者さんの診療にあたります。
- 3 私たちは、患者さんの権利を尊重し、信頼に基づく安全で良質な医療を提供します。
- 4 私たちは、診療所や他の病院と連携を密にし、地域医療の充実に努めます。
- 5 私たちは、健全経営に努め、明るく働きがいのある病院を創ります。

精神科 基本方針

患者さんの尊厳と自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護します。

- 1 精神科救急医療への貢献をします。
- 2 精神障害者の身体合併症患者の受入を行います。
- 3 地域資源との連携を行い、地域生活移行を支援します。

緩和ケア 理念

悪性疾患を含め、すべての疾患において苦痛の緩和を必要とする患者、およびその家族の想いを可能な限り尊重する。さらに患者およびその家族の生活や希望を支え、その人らしく生きていくことができるよう最大限の支援を行う。

緩和ケア 基本方針

- 1 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
- 2 患者がその人らしく生きることができるよう支えます。
- 3 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
- 4 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
- 5 患者の希望に添い、在宅への支援を行います。
- 6 患者の療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。

患者の権利宣言

松江市立病院は、患者さんの権利を尊重し、信頼にもとづく良質な医療を行うため、患者さんの権利と責務に関する宣言をここに掲げます。

1. 良質な医療を受ける権利

患者さんは、安全かつ適切で良質な医療を公平に受ける権利があります。

2. 説明や情報を得る権利

患者さんは、病状や治療法等について十分な説明と情報を得る権利があります。

3. 選択の自由と自己決定の権利

患者さんは、治療法を自らの意思で選択、決定する権利があります。

4. 個人情報の秘密保持の権利

患者さんは、診療の過程で得られた自己の個人情報の秘密が守られ、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。

5. 尊厳を得る権利

患者さんは、個人としての人格、価値観などを尊重され、医療従事者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

6. 患者さんの責務

- (1) 医療従事者に対し、自分の健康に関する情報を提供する責務があります。
- (2) 他の患者さんの診療に支障を与えないよう配慮する責務があります。
- (3) 医療従事者の指示を守り、治療効果をあげる努力をする責務があります。

診療日程表

平成29年7月

診療科			月	火	水	木	金
総合診療科			曾田	芦田	曾田	山田	曾田
糖尿病・内分泌内科			多田	佐々木	佐々木(初診) 多田(再診)	多田	佐々木
消化器内科			河野・加藤・堀江	谷村・三浦・吉村	堀江・加藤・村脇	吉村・村脇・三浦	竹田・谷村・河野・兼村
循環器内科	初診	岡田	三浦	大嶋	太田	山口	
	再診	竹田	太田・大嶋	岡田・竹田	山口・三浦	—	
呼吸器内科			小西	龍河・早淵	小西	早淵(初診) 小西(再診)	龍河
神経内科			高井・鞍嶋・本田	高井	鞍嶋・本田	高井	鞍嶋・本田
小児科			辻・掛江	米田・掛江	辻・田中	辻・米田	米田・掛江
放射線科			堀・飴谷	謝花・木村	堀・飴谷	謝花・木村	飴谷
精神神経科			奥田・小野	大竹・西口	奥田・今岡	大竹・小野	大竹・大学医師
皮膚科			松木 吉田(再診)	吉田 松木(予約のみ)	松木 吉田(再診)	松木	松木(再診) 吉田
消化器外科	初診	山田	河野	梶谷	倉吉	大谷	
	再診	菅澤・倉吉	大谷	若月・山田・大谷	河野	梶谷	
乳腺・内分泌・血管・胸部外科			内田	松井	野津	松井	野津 内田(乳腺・内分泌)
心臓血管外科			—	—	—	—	清水 14:00~16:00
脳神経外科			医師交替 (初診)	阿武	医師交替 ~9:00(初診)	辻 瀧川(再診)	瀧川 阿武(再診)
整形外科			医師交替(初診) 村上(再診)	近藤(初診) 梅木(再診)	石田(初診) 近藤(再診)	村上(初診) 石田(再診)	梅木(初診)
形成外科			松井	松井	松井	松井 ~9:00(初診)	松井(再診) 坂井(紹介のみ)
産婦人科	初診	入江	田代	佐藤	高橋	紀川	
	再診	高橋	入江	澤田	佐藤	田代	
	妊婦健診	佐藤	高橋	田代	澤田	入江	
泌尿器科			角	瀬島	山口	角	山口・瀬島
耳鼻いんこう科			榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷	榎本・小谷
眼科			板持・堅野	板持・堅野	堅野(再診)	板持・堅野	堅野
麻酔科 緩和ケア・ ペインクリニック科	緩和ケア	岩下	安部・中右	岩下	安部・中右	医師交替	
	ペイン	—	安部(午前) 小糠	—	—	岩下・中右	
リハビリテーション科			徳田・福永	徳田	福永	徳田	徳田・福永
歯科口腔外科	午前	初診	高村	石倉	石倉	成相	小田原
		再診	成相・石倉・小田原	成相・大熊・小田原	小田原・成相・高村	石倉・高村・小田原	石倉・成相・高村
	午後	再診	小田原・大熊・石倉	小田原・大熊・石倉	成相・大熊・小田原	成相・石倉・高村	成相・小田原・高村

※都合により診療医師は変更する場合があります。



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL

●発行者/松江市立病院長 紀川純三 ●編集/広報委員会

<http://www.matsue-cityhospital.jp/>

〒690-8509 松江市乃白町32番地1 TEL(0852) 60-8000(代) FAX(0852) 60-8005